

種継の会



「河合ホウキ」作業支援大募集!

常陸太田市河合町で伝統的に作られてきた「河合ホウキ」。

毎年年末にホウキを背負って遠く福島方面まで販売されていた様子は、多くの方に冬の風物詩として記憶にとどめられていました。

河合のホウキ常陸太田の特産品の一つでした。数十年も使用できる耐久性はもちろん、最近ではエコでもあり見直されています。

現在、河合ホウキの生産者はたった一人となつてしまいました。代々受け継いできた伝統を守るべく、種継ぎ人の会では、今年ホウキモロコシの栽培から支援を始めたところです。

六月末の種まきから、約二ヶ月、穂をつけたホウキモロコシの刈り取りと一緒に農業支援・体験しませんか。ご協力いただいた方に向けて、秋にはミニホウキ作りのワークショップも開催します。

【刈り取り支援】

八月二十三日～二十四日(土・日)

午前中：刈り取り 午後：脱穀・煮だし

【乾燥作業支援】

八月二十五日～二十七日(月・水)

午前中：穂を干し場に運び並べる

【持ち物・服装】

長袖長ズボンの作業服

※首回りもカバーできる服装。肌が露出していると傷めます
飲み物・長靴・タオルなど。炎天下の作業になりますので、十分お気をつけて準備ください。

※日よけパラソルなど会でも用意しますが、お持ちの方はご持参ください。

【集合場所・時間】

午前七時 常陸太田市役所 南側駐車場

※作業場所は狭いので、車を乗り合わせて行きます。直接畑へ車で参加はご遠慮ください。

在来種子をお分けします!

メンバーの方から、在来作物の栽培情報が欲しいという希望を頂きました。ごもつともです。ただ、私たちが記録している作物は栽培したことがないものばかり。少しずつでも皆さんと一緒に栽培しながら、栽培マニュアルや収量などの記録を一緒に作り上げてゆきたいと思えます。そのためにも、この通信上で皆さんにお分けできる種苗をご紹介します。今回お分けできるのは：

一、里美在来油菜

秋の彼岸過ぎに種まきします。昨年試作しましたが、雪に弱いです。早播きせずに小株で冬を越し、春にとう立ちを食べます。葉は欠刻が深く緑が濃く、柔らかくて美味です。

二、生田ねぎ

今春の試食交流会で好評だったねぎです。やはり彼岸過ぎに種を播き、早春に定植。夏に食べるとおいしい分けつ葱です。

種子をお分けする方には種継ぎ人の会の趣旨を十分にご理解頂いた上で、栽培情報の提供と種子の存続へのご協力をお願いいたします。

種子をご希望の方は布施大樹 (090・6135・4092) までご連絡ください。受け渡しは鯨ヶ丘東一町のCafé+1となります。

ファーム&キッチンに向けて

常陸太田市内で行われている「ファーム&キッチン(以下F&K)」という取り組みを御存知でしょうか? 毎回市内の農産物をテーマにして、飲食店の方々が新たな料理を創作し、市内の農業者と飲食店を結びつける取り組みです。来年の二月に行われるF&Kで在来作物の「娘来た(小豆)」が使われることになりました。生産量も少なく食べたことがある方もまだまだ少ない品種ですが、この機会に多くの方に食べて知って頂ければと考えています。

また、もし種を持っていった方でF&Kに「娘来た」を出してみたい方がいらつしやいましたら、ぜひお知らせください。会でも「娘来た」の生産拡大に向けて取り組み始めました。



「娘来た」の芽が出ました

種継ぎ人の会 入会募集のお知らせ

種継ぎ人の会は会として継続した、自立的な活動を進めるため、会員会費をお預かりすることで合意しました。入会ご希望の方はお手数をおかけしますが、お近くの会員に会費をお預けいただくか、あるいは下記口座まで会費の納入をお願いいたします。また、今後ご連絡は基本的にメールで、活動の報告はウェブサイトを中心に行っていきたいと考えています。メール連絡へのご理解とご協力も併せてお願い致します。



会員年会費：1,000円
ゆうちょ銀行
種継ぎ人の会(タネツグビトノカイ)
記号：10630 番号：15285671